

第 24 回 AMS シンポジウム 2nd circular

シンポジウム概要

日程：2024 年 3 月 28 日（木）・3 月 29 日（金）

会場：東京大学武田ホール（浅野キャンパス武田先端知ビル 5 階）

アクセス：https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_16_j.html

開催形式：対面による口頭発表とポスター発表

参加費：一般 1,000 円（税込）、学生 無料

懇親会：一般 3,000 円（税込）、学生 1,000 円（税込）

（参加費・懇親会費は、当日受付にてお支払い頂きます。現金のみ。できるだけお釣りの無いようにご用意ください。）

当日参加歓迎します！

プログラム

シンポジウムの web サイトに掲載しています：

<https://malt.um.u-tokyo.ac.jp/jams-24/>

日本 AMS 研究協会総会

3 月 29 日 15:40 から（セッション終了後）。

口頭発表形式

一般講演 講演 15 分 + 質疑応答 5 分

スクリーンは 16:9 に最適化されています。4:3 も問題なく投影可能です。

HDMI ケーブル接続を用意しております。

ご自身の PC で発表ください。PC をご用意できない場合は事前にご連絡ください（atsumare_malt@googlegroups.com）。

ポスター発表形式

横 90cm×縦 180cm のパネルをご用意します（A0 ポスターが余裕で貼れます）。

また 3 月 28 日 17:20 からショートプレゼンテーションの時間を設けます。

1 分程度で自己紹介と内容紹介をお願いします。パワーポイント等をお使いの場合は、事務局で投影しますので、休憩時間終了（28 日 15:30）までに atsumare_malt@googlegroups.com 宛メールでお送りください。パワーポイント無しでも大丈夫です。

懇親会

3 月 28 日 18:30 から。

当日参加も歓迎いたします。

みなさまお誘い合わせの上ご参加ください。

シンポジウム web site：<https://malt.um.u-tokyo.ac.jp/jams-24/>

問い合わせ先メールアドレス：atsumare_malt@googlegroups.com（事務局）

第 24 回 AMS シンポジウム実施委員長 松崎浩之（東京大学 MALT）

第 24 回 AMS シンポジウム プログラム (簡易版)

日時 : 2024 年 3 月 28 日 (木) 13:00 - 3 月 29 日 (金) 16:10

場所 : 東京大学武田先端知ビル 5F 武田ホール

3 月 28 日

12:30 受付

13:10-15:10 セッション 1

- | | | |
|-----|---|------|
| O-1 | 高エネルギーミューオンによる長半減期宇宙線生成核種 Be-10.... | 櫻井敬久 |
| O-2 | 地球表層における ^7Be , ^{10}Be の分布 | 永井尚生 |
| O-3 | 真脇遺跡出土海産物試料の ^{14}C 年代の暦年較正 | 中村俊夫 |
| O-4 | 山形大学高感度加速器質量分析センターの現状 2023 | 門叶冬樹 |
| O-5 | 国立環境研究所 AMS システムの現状 (2023) | 小林利行 |
| O-6 | 東京大学大気海洋研究所シングルステージ AMS の現状 2023 | 宮入陽介 |

15:30-16:15 特別講演

- | | | |
|-----|------------------------------------|------|
| S-1 | 土器残存脂質分析とその可能性-MALT おける脂質分析プロジェクト- | 宮田佳樹 |
|-----|------------------------------------|------|

16:20-17:20 セッション 2

- | | | |
|-----|----------------------------------|------|
| O-7 | 地上宇宙線生成核種による地形学の時代: 興隆と継承 | 松四雄騎 |
| O-8 | ヨウ素同位体システムの研究: 歩みと展望 | 松崎浩之 |
| O-9 | 隆起海浜の宇宙線生成核種による年代決定と最終間氷期以降の.... | 横山祐典 |

17:20-17:35 ポスターショートプレゼンテーション

17:45-18:30 ポスターセッション 1

18:30-20:00 懇親会 (武田先端知ビル 5F ホワイエ)

3 月 29 日

9:10-9:40 ポスターセッション 2

9:40-12:10 セッション 3

- | | | |
|------|--|------------|
| O-10 | 大気生成および地上生成 Be-10 の併用に基づくソイルクリーブ.... | 近藤有史 |
| O-11 | 国立歴史民俗博物館における超高精度年代測定総合研究拠点形成 | 箱崎真隆 |
| O-12 | 南極ドームふじ氷床から探る過去の極端太陽高エネルギー粒子現象 | 三宅美沙 |
| O-13 | 放射性炭素を用いた骨の連続分析:骨に残された成長期の記録 | 南谷史菜 |
| O-14 | Tracking marine iodine cycle through speciation analysis of iodine-129 | QI Yuanzhi |
| O-15 | 地表生成宇宙線生成核種 ^{10}Be による人為的斜面侵食加速の定量的.... | 太田凌嘉 |
| O-16 | 東京大学総合研究博物館 Compact-AMS の現状 (2023 年) と.... | 大森貴之 |

13:30-15:40 セッション 4

- | | | |
|------|--|----------|
| O-17 | 北極海の海水中 ^{236}U 濃度と ^{129}I 濃度 | 山形武靖 |
| O-18 | 農地および農作物の ^{129}I 調査 | 藤原英司 |
| O-19 | Distribution of ^{129}I in Bering Sea, Chukchi Sea and Beaufort Sea | XU Xinru |
| O-20 | 筑波大学 6 MV タンデム加速器質量分析装置における多核種 AMS | 松村万寿美 |
| O-21 | パレオ・ラボ Compact AMS の現状(2024) | 佐藤正教 |
| O-22 | JAEA-AMS-TONO の現状 (令和 5 年度) | 藤田奈津子 |

ポスターセッション

- | | | |
|------|---|--------------|
| P-1 | 2007年から2021年の北太平洋亜寒帯域(WOCE-P01 line)における... | 熊本雄一郎 |
| P-2 | Radiocarbon ages of plant remains in massive ground ice and... | IWAHANA Go |
| P-3 | A Theoretical Model for Determining Earthquake-related Erosion.... | PENG Jiajun |
| P-4 | 土砂給源域と堆積域の宇宙線生成核種 ^{10}Be に基づく隆起山地の... | 太田義将 |
| P-5 | MALT Accelerator Report 令和4年から現在まで | 徳山裕憲 |
| P-6 | 高濃度汚染都市インドコルカタ環境における大気-堆積物中 PAHs.... | 熊田英峰 |
| P-7 | Was the increasing temperature of mid-depth warm Atlantic water.... | UCHIDA Masao |
| P-8 | Progress of LPD-AMS Test Bench Development | WANG Lezhi |
| P-9 | 古地磁気強度の時間変化を組み入れた地表面露出年代と地形の.... | 渡壁卓磨 |
| P-10 | Meteoric ^{10}Be を用いたティモール海におけるターミネーション1.... | 根本夏林 |
| P-11 | 海洋リザーバ効果を用いた南太平洋トンガ王国における過去3000年.... | 福與直人 |